
残業戦士黄泉リーマン

山太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

残業戦士黄泉リーマン

【NZコード】

N4427D

【作者名】

山太

【あらすじ】

ただの中年男、西村健三の身に起る物語

終わりの始まりの終わり

春、うらりかな晴れた朝。開けた窓から吹き込む息吹、生命の匂いを含ませた空気は、網戸越しに部屋へと吹き込む
「むお～う」

カバのような欠伸、容姿もまたカバのようだ。

中年男、西村健三は、幾重にも皺の刻まれた瞼を擦り、ねずみ色の萎びたスーツに腕を通す。

大学卒業から二十年間、対価の出ない残業と戦いながらも勤め上げてきた。

定年までの折り返し地点も過ぎたものの、たいした出世もせず目立った昇給も無かつた。

しかしそれは独身ワンルームアパート暮らしの西村にとつては大した事では無かつた。

手取りから生活費を引いても、趣味のパソコンに使う金はそれなりに余っていたので、

西村は就職以来ずっと悠々自適に独身生活を満喫していた。

「いつきます」

誰もいない部屋に響く声、色あせ氣味の革靴を履き、カバンをもつて部屋を出た。

何も変わらない日常だった。愛用のママチャリに乗り、住宅地から出て国道を横切る。

青信号を渡り始めた次の瞬間には、鈍い音と共に西村の体は大型トラックの下敷きになっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4427d/>

残業戦士黄泉リーマン

2010年12月24日02時24分発行